

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フラワーパーク3号館		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 1日		2025年 9月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2025年 9月 1日		2025年 9月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービスの個別の支援計画に沿った支援を行っている	支援計画を基に児童用にも分かりやすくスモールステップした目標を個別に設定し児童用ファイルを作成。来所した際に自身で確認して取り組むシステムを設定している。その日毎に達成しているか未達成かがわかるように、磁石を使って見える化にし声かけしやすいようにしている。また内容の評価も同時に行っている為、支援計画に沿った内容になるよう日々見直しも意識している。	子どもたちがもう少し意欲的に取り組めるよう状況確認しながら、児童とも目標設定を検討する。
2	安心感や支援に対する満足度の高い評価	個々に合わせ子どもだけでなく家族様の状況も把握しながら、可能な限り対応している。 また安心して通所できる場となっている為、家族のレスパイトにも繋がってる声も日々いただいている。	関係する背景を確認しながら情報共有を行い、密に連携をとっていく。またその状況にあったサポートができるよう支援員の研修やスキルアップを目指していく。
3	活動プログラムの固定化	活動名が同じであっても、内容や担当を変えることでマンネリ化を防いでいる。 また子どもたちからの声も取り入れるようにしたり、希望があった際には子ども主体の活動もある。	まだ実施できていない活動や希望が多い戸外活動を増やし、室内だけでは学べない事の取り入れを検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方との交流を積極的に行えていない	地域活動と事業所の開所日時にズレがある。 地域を巻き込んだイベントの企画が上手く進んでいない。	地域活動の情報収集に現状より増やしていかなければいけない。 地域との関わりを意識したプログラムの検討を少しずつ無理のないように検討していきたい。
2	保護者同士の交流の機会	保護者が選択できる日数設定が少ない。 保護者間の都合や調整が難しい。	開催日数を増やす。 テーマごとに対象となる児童の保護者に呼びかけをし参加を募りより意味のある保護者交流を目指す。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 フラワーパーク3号館

公表日 2025年10月30日

利用児童数 29名

回収数 26名

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	2		1	人数が多い時間は狭く感じることもあるかもしれない	特に中高生が多い曜日は狭く感じる場合もあります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24			2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24			2	活動中をゆっくり見る機会がないため分からない。でも生活空間はわかりやすいように工夫されていると思う。	パーテーション等はないが学習や遊ぶ場所を分けています。室内での参観等検討いたします。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1		2	平日利用がメインだと外出や外食の活動にあまり参加できない為、長期休暇等で平日に外出や外食の活動を取り組んでほしい	平日の外出も増やしつつありますが、もう少し外出の頻度を増やせるようにバランスをみながら検討いたします。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	20	3		3	まだ通い始めて日が浅いためわからない	機会を増やせるよう情報収集及び企画ができるよう努めます。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	3		4	把握できていないかもしれない	積極的に行っていない為、取り入れれるよう検討いたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	24	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	16	4	1	5	平日は仕事があるため参加が難しい。普段子どもがよく関わっているお友だちの保護者さんと会う機会があればいいなと思う。	保護者だけの交流の機会は児童が利用している時間帯は人員の確保や場所の確保など難しい事が多いため、参観日や保護者参加型の活動を取り入れていきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25			1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24			2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25			1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	26				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		フラワーパーク3号館		公表日		2025/10/20	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		9	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5	4	支援員の休みが重なり、当日の人員が少なくならないように声を掛け合っている。	常勤人数の増員	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7	2		・トイレの入り口が狭い為、 ・補助具使用児が入ると困難が予想される。 設備の老朽化によって環境設定に欠点あり。 業者に依頼し対応が必要。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		9		パーテーション等はないが学習や遊ぶ場所を分けている		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		9		目的を伝えて使用することとなっている。 また入り口には使用中他者に分かるようにしゅっくりできるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		9			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9		職員間で確認し改善に繋げている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		事業所見学会等に参加し意見をいただいている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		9		グループ内や外部研修に参加できる時は参加している。	状況に応じて受ける職員の偏りがある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		9			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		9		半年に1回、保護者様と可能なお子様にも面談を行い計画の見直しや更新を行っている。 アセスメント書類を作成できている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		9			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		9		職員間だけでなくこどもとも共有し、利用毎に確認をしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		9		個々の目標や記録を各個人のファイルを作成し、こどもと一緒に確認を行っている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		9			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		9		項目が同じでも内容を変えるようにしている。 また担当も変えマンネリ化しないように意識している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		短縮などによって難しい日もあるが出来る限り行っている。 またLINEを活用し周知している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		送迎や勤務時間がバラバラなため難しいが出来る者同士で行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		こどもが自己決定しやすいように、保護者にも助言を行い協力いただいたりしている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	必要に応じて連携している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			保護者を通してでない連絡を取れない学校等もあり全て密に対応調整できない場合もある
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	機会がないため、同じタイミングで地域の公園を一緒に利用する際に一緒にドッチボールをしたりすることがある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2	可能な限りオンラインでも出席するようにしている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4		今年度はまだ実施できていない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		保護者と会えない場合は児童から渡してもらい電話での対応を行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	5		今年度はまだ実施できていない。保護者や兄弟のニーズを踏まえ、交流会等の実施方法を模索していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5		今後取り入れていきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		月1回の避難訓練+年に1回の防災センターでの体験学習	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			現在対象児童がいない。必要に応じて行う
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		警報発令時の対応、避難場所や緊急連絡先の周知はしている。避難訓練は子どもも含めた研修や体験学習を取り入れ活動内容や実施報告はInstagramで発信している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9				